

静岡市アリーナ基本計画

2025年1月
静岡市

目次

1. はじめに	
(1) 基本計画について	…2
(2) 静岡市がめざすアリーナ	…3
2. アリーナをとりまく状況	
(1) エンターテインメント市場の動向	…4
(2) スポーツビジネス市場の動向	…5
(3) スタジアム・アリーナ改革	…6
(4) 国内のアリーナ整備状況	…7
(5) 県内の類似施設	…8
(6) 静岡市の現状と課題	…9
3. アリーナ予定地	
(1) アリーナ予定地の概要	…10
(2) 予定地選定の経緯	…13
(3) 周辺環境と課題	…15
4. めざすべきアリーナ像	
(1) アリーナがもたらす効果	…19
(2) アリーナの経済効果	…20
(3) めざすべきアリーナ像の概要	…21
(4) アリーナの基本的な考え方	…22
(5) アリーナに求められる役割	…23
(6) アリーナに求められる機能	…24
5. 東静岡のまちづくりとアリーナ	
(1) 関連計画	…25
(2) これからの東静岡のまちづくり	…26
(3) まちとアリーナの一体化	…28
(4) 配置計画の考え方	…29
6. 施設計画	
(1) 基本要件	…30
(2) 機能および諸条件	…32
7. アリーナのイメージ	
(1) 配置計画イメージ	…43
(2) エリアのイメージ	…44
(3) 動線のイメージ	…45
(4) 平面・断面イメージ	…46
8. 事業費及び事業手法	
(1) 公的負担の考え方	…48
(2) 運営者収入の収益性向上の考え方	…49
(3) 事業手法の考え方	…50
(4) 事業スケジュール	…52
(5) 事業費の考え方	…52

(1) 基本計画について

静岡市は、これまでの市内の施設では実現できなかった、最高峰のプロスポーツの試合や大規模なコンサートが開催可能な多目的アリーナを、JR東静岡駅北口市有地に整備することをめざしています。

人口減少・少子化が静岡市の大変な課題である中、アリーナは、まちの魅力向上、文化振興、地域経済の活性化など、大きな経済社会効果を生むとともに、市民に新たなスポーツ・エンターテインメントの魅力・楽しみ方の提供による、ワクワク・ドキドキといった感動体験をもたらします。

さらに、アリーナを核とした東静岡周辺のまちづくりを、アリーナ整備と一体的に進めることで、相乗効果により、東静岡周辺は最先端の文化・スポーツ・エンターテインメントの体験や、商業、交通、文化・教育等の充実した都市機能と快適な住環境を兼ね備えたまちにします。

静岡市では、これまで予定地やめざすべきアリーナ像、事業性や事業手法について検討を重ねてきました。これをふまえ、アリーナの事業化や事業者の公募に向けて、施設の概要や規模、具体的な機能や役割、事業手法などを定めることを目的として、「**静岡市アリーナ基本計画**」を策定します。

5. 東静岡のまちづくりとアリーナ

(1) 関連計画

静岡県や静岡市の関連計画では、JR東静岡駅北口を文化・スポーツの拠点として整備していくことが、以下のように位置づけられています。

第4次静岡市総合計画（2022.12議決）（計画期間2023～2030）

- 草薙・東静岡副都心を中心とした賑わいづくりの施策として「アリーナの整備促進」を位置づけ
- 「アートとスポーツがあふれるまちの推進」を市の5大重点政策の一つとし、アリーナ整備の促進等により、スポーツの力を活かした国内外との交流促進とスポーツに親しむ環境の充実に取り組む

静岡市都市計画マスタープラン（2016.3改定）（計画期間2016～2035）

- 東静岡副都心地区を都市づくりの核となる重点地区に位置づけ
- 都市拠点（都市機能と人口が集積する場）として、定住人口の誘導、文化・スポーツ、国際交流、情報発信等の都市機能の集積を図り、都市型産業機能の集積を進めるとともに、魅力と賑わいのある都市空間の形成と、交流人口の増加を図る



駿河まなびのまちづくりグランドデザイン (2021.3策定)（約20年先のまちの将来像）

JR東静岡駅北口市有地に「文化・スポーツの殿堂」としてふさわしい拠点の整備・運営を検討



静岡市立地適正化計画 (2024.3改定)（目標年次：2035年度）

JR東静岡駅周辺は、定住人口の誘導、文化・スポーツ、国際交流、情報発信等の都市機能の集積を図る

“ふじのくに”の「文化力」を活かした地域づくり基本構想（静岡県）

- JR東静岡駅周辺のまちづくりのめざす姿として、「当地域の「陸の玄関口」にふさわしい「文化とスポーツの殿堂」」
- JR東静岡駅南口県有地及び北口市有地は、「文化とスポーツの殿堂」の核となり、“ふじのくに”静岡の文化力の高さを国内外に発信する中心拠点として、また、県都のスポーツの殿堂として、県と市が連携を図り、最大限の魅力が発揮されるよう活用を図る

5. 東静岡のまちづくりとアリーナ

(2) これからの東静岡のまちづくり

アリーナの計画地である東静岡地区は、JRと静岡鉄道が近接している場所であり、静岡市の南北・東西、葵・駿河・清水の3区の連携という点でも重要な地理的位置にあります。アリーナの建設により、アリーナ単体ではなく、アリーナを核として、周辺地域一帯に新たな価値を生み出すまちづくりが期待されます。

東静岡地区の将来像
「新たな文化・スポーツの拠点づくり」と
「快適で住みやすい住環境づくり」

周辺施設との連携

JR東静岡駅周辺では、アリーナのほかに、新県立中央図書館の整備が予定されています。既存のグランシップとこれらの新たな施設が連携して、東静岡はスポーツ・文化・教育の拠点となるとともに、新たなまちづくりの絶好の時機を迎えています。

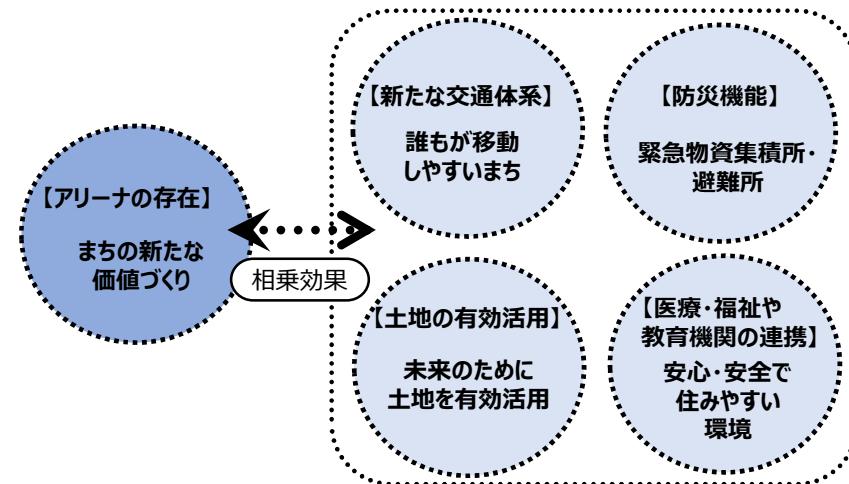
アリーナを施設単体で整備するのではなく、アリーナを核とした東静岡のまちづくりを一体的に進めることで、相乗効果により、東静岡は最先端の文化・スポーツ・エンターテインメントの体験や、商業、交通、文化、教育等の充実した都市機能と快適な住環境を兼ね備えたまちに発展します。

ペデストリアンデッキによるまちづくりとの相乗効果

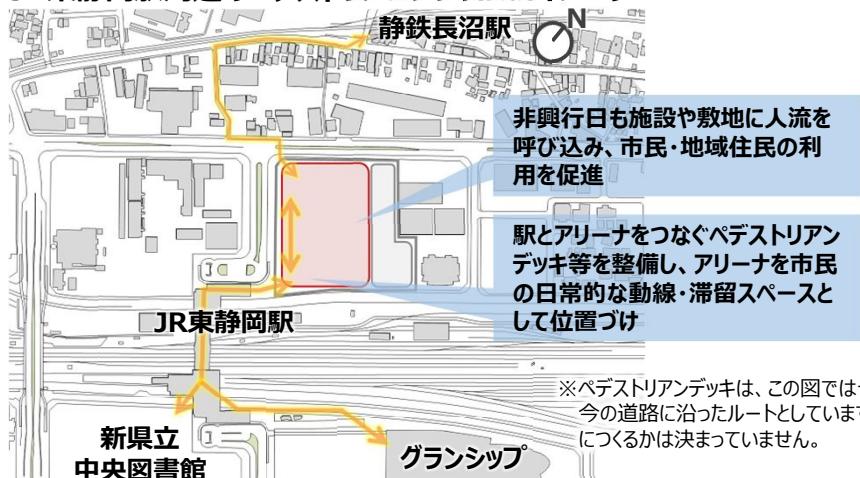
アリーナ興行日は、JR東静岡駅や静岡鉄道長沼駅の利用者の増加および、駅北口の歩行者の増加が見込まれるため、駅とアリーナをつなぐペデストリアンデッキを整備することを検討しています。

駅とアリーナをペデストリアンデッキで接続し、アリーナおよびアリーナ敷地を、日常的な歩行者動線の一部として位置づけることで、アリーナの収益力の向上と、まちの賑わいづくりへの効果が期待されます。

東静岡のまちづくりとアリーナの相乗効果



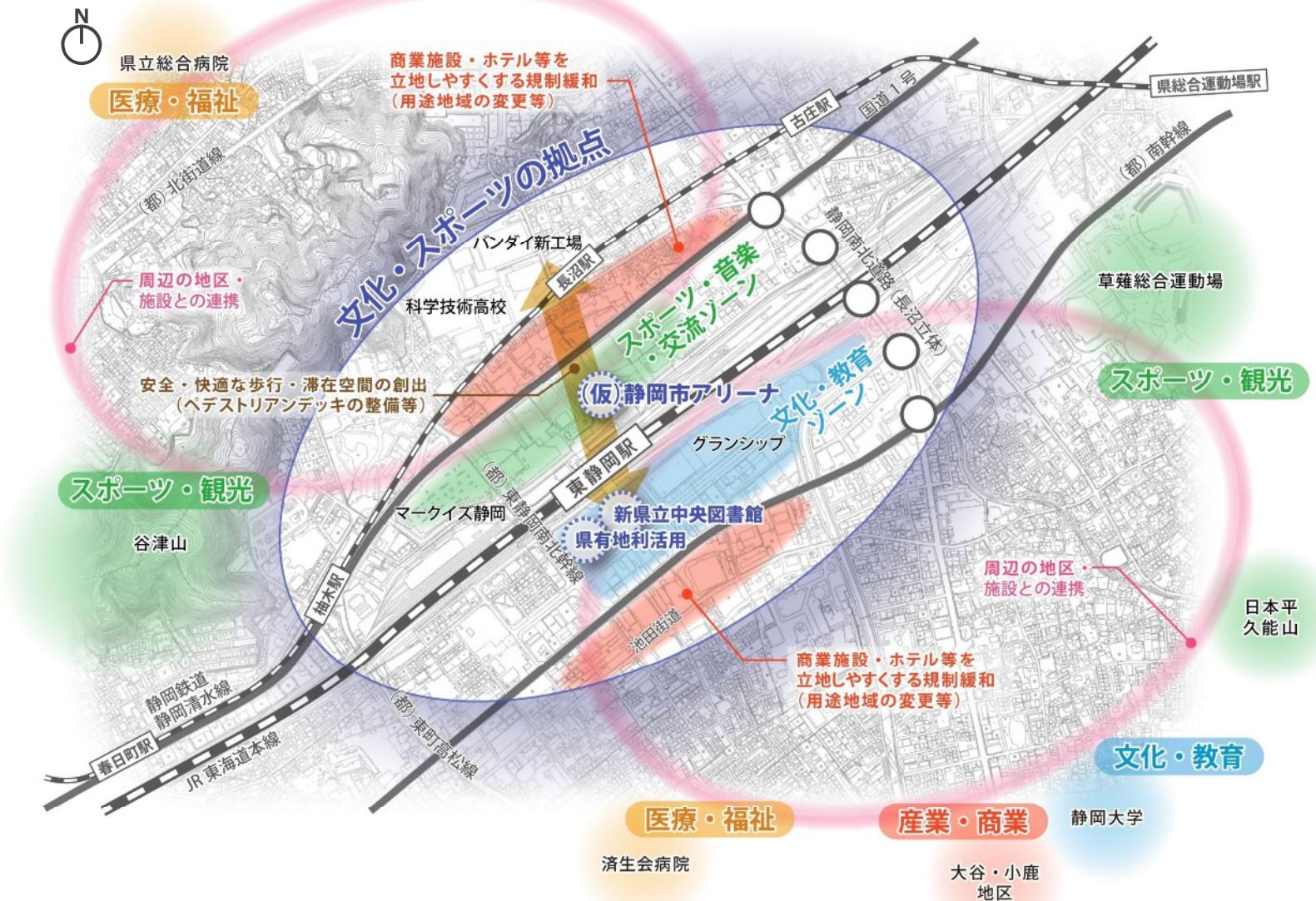
JR東静岡駅周辺のペデストリアンデッキ接続イメージ



5. 東静岡のまちづくりとアリーナ

(2) これからの東静岡のまちづくり

人口減少や地球温暖化といった時代の大きな変化を認識し、これからの20年、30年、その先の50年までを視野に入れながら、未来につながる持続可能なまちづくりを進めていきます。



(3) まちとアリーナの一体化

スタジアムやアリーナの多くは、周辺とは独立した空間として整備されてきましたが、近年新たに整備・計画されている施設には、ハード、ソフトの両面から施設とまちをつなげる計画とするものがあります。

アリーナの興行日だけ人々が集うのではなく、市民がアリーナに日常的に集うことによる、まちの魅力向上や収益の向上や雇用の創出などは、持続的なまちづくりの一助となります。

アリーナ単体ではなく、多機能施設を組み合わせた複合施設として一体的に整備するとともに、エントランスやペデストリアンデッキにより、まちとつながり、まちと一体化したアリーナとすることで、市民が日常的に集う「地域のためのアリーナ」をめざします。

「多機能施設」

非興行日にも利用可能な、アリーナの付帯施設であり、民間事業者の提案に基づいて決定します。

(参考例)

- ✓ 宿泊施設
- ✓ 飲食
- ✓ 物販
- ✓ 教育施設
- ✓ クリニック（医療モール）
- ✓ レンタルオフィス（ベンチャー向け）
- ✓ スポーツクラブ
- ✓ 公的機関（エリアマネジメント）
- ✓ 子どもの遊び場

まちに開かれたスタジアム・アリーナの好事例



北海道北広島市ボールパーク特設サイトより

北海道ボールパークFビレッジ…スタジアムを中心に、観る/食べる/遊ぶ/体験する/ショッピング/泊まるが集合した北海道の新たなシンボルとなるボールパーク。スタジアムも含めて365日営業しており、プロ野球の興行がない日にも平日5,000人、休日10,000人が来場している。

(4) 配置計画の考え方

1) 予定地の状況

- 予定地の南側にはJR東静岡駅、北側には静岡鉄道長沼駅が位置し、駅からのアプローチを考慮した配置計画が必要となります。
- 3面が道路に面しており、車両渋滞に配慮した駐車場計画が必要です。
- アリーナに加え、グランシップや新県立中央図書館といったスポーツ施設、文化施設の集積を活かし、JR東静岡駅の南北の連携や、これらの施設の往来を考慮した動線計画が必要です。

2) 配置計画の考え方

- JR東静岡駅北口側には、人の流れを受け止めるための広場空間を設け、来場者の滞留やイベントスペースとして活用できる場所とともに、アリーナの顔として、駅からの見え方に配慮した計画とします。
- JR東静岡駅や、静岡鉄道長沼駅をつなぐペデストリアンデッキ等を整備することで、アリーナへの動線を確保するとともに、地上およびデッキ上の2フロアでの、スムーズな入退場が可能な計画とします。
- アリーナのバックヤード（搬入口など）は、国道1号等の周辺道路の交通への影響を抑えるため、車両動線を考慮した配置とし、駐車場エリアは、アリーナ内へ一方通行で搬出入可能な経路の確保と、十分な道路幅を設定します。
- 駐車場エリアは、障害者や車椅子利用者等の十分な通行スペースを確保します。
- スポーツや音楽など、多様なイベント開催が可能となる機能・諸室を備えるとともに、イベント主催者や観客が使いやすい諸室の配置とします。

